

ご使用前に必ずお読み下さい。

このたびは弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みいただき正しくお取り扱い下さいませようお願いします。なお、この取扱説明書はお手元に残し、必要に応じてご覧下さい。

T-724 取扱説明書

製品仕様

- 時間精度：平均月差±30秒以内（常温での使用時）（電波時計による時刻修正を行わない場合）
- 表示精度：±1秒以内（電波受信による時刻修正の直後）
- 使用温度範囲：0℃～+40℃
- 時刻表示：12時間制表示、または24時間制表示
- 使用推奨電池：単3形アルカリ乾電池(LR6 1.5V) 2個（電池別売）
- 電池寿命：約8ヶ月（1日にアラームを30秒、ライトを1回使用した場合）
- 受信電波：標準電波JJY、周波数：40kHz/60kHz（自動選局）
- 自動受信回数：最多5回/1日
- 電波受信状況表示
- アラーム：電子音（1分間オートストップ）
- スヌーズ（無制限繰り返し可能）
- スヌーズ間隔任意設定（1～60分）
- ライト機能（バックライト）：残照機能（約5秒）

▲注意と警告 安全にご使用いただくために

注意と警告

下記注意事項を必ず守って下さい。

- 禁止** ●分解・改造をしないで下さい。
 - ▲**注意** ▲**警告** ●強いショックを与えないで下さい。●次のような場所での使用、保管はしないで下さい。◆温度が0℃以下、または+40℃以上になる場所◆浴室など、湿気が多い場所◆直射日光などの強い紫外線が当たる場所◆強い磁気のある場所◆振動の激しい場所、不安定な場所◆工場、台所など、油分の多く発生する場所◆温泉場など、ガスの発生する場所◆温風機などの乾燥した風が当たる場所◆塵や埃の多い場所◆ゴムやビニール系素材に長い間直接触れさせておく、色移りや付着・変質をする場合があります。●梱包用袋は絶対にかぶらないで下さい。
- 禁止** ●分解・改造をしないで下さい。
- 注意** ●電池の入れ方について
- プラスティックのふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラぶきして下さい。
 - ペンジン、アルコールなどの溶剤、ミガキ粉、ブラシは使わないで下さい。変色、変形の恐れがあります。

●本取扱説明書の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷による制限のため、本取扱説明書の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対しては本廠が責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

保証書 GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。

尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

型番	T-724
保証期間	
お買上げ日	

この保証書は、複製のため、ご利用できません。

販売店

販売店名、同印、お買上げ日の記入の無いものは無効です。本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。本保証書は日本国内のみ有効です。（This guarantee is valid only in Japan.）

発売元 ノア精密株式会社
本社：〒111-0042 東京都台東区寿 1-6-7 コーハイツ仲光3階

保証・アフターサービスについて

- 保証の内容については左記保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスは海外はできません。
- 次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。
- ◆本保証書の提示がない場合
- ◆本保証書に販売店およびお買上げ日の記載がない場合
- ◆誤った使用、不注意、不当な修理により生じた故障・損傷
- ◆改造または分解により生じた故障・損傷
- ◆火災や天災地変による故障・損傷
- ◆ご使用中に生じた傷など外観上の変化、損傷
- 保証期間中・期間経過後とも、修理品はお客がお買上げ店にお持ちいただけます。修理を依頼される場合はお買上げ店にご持参下さい。
- 修理品をお持ち・ご送付される場合の運賃、諸掛り費用はお客様に負担願います。
- 修理・調整にあたって、部品・付属品などについては、一部代替部品を使用させていただくことがあります。
- 本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります型番をご確認の上、ノア精密株式会社にお問い合せ下さい。（型番：T-724）

ノア精密株式会社 サービスセンター
〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1
TEL:048-933-4080
<http://www.mag-clock.co.jp>

受付時間：月曜日～金曜日（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）
10:00～12:00、13:00～17:00
※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承下さい。

電池について

- 禁止** ●ショート・分解・加熱・火に入れるなどしないで下さい。●+と-を逆に入れて下さい。●電池に直接ハンダ付けしないで下さい。
- ▲**注意** ▲**警告** ●寿命の切れた電池はすぐに電池ホルダからはずして下さい。
- 長期間機器を使用しない場合は機器から電池をはずして下さい。
- 電池が液漏れした場合は、液に触れないで下さい。●電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合はケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けて下さい。●電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は医師に相談して下さい。
- 電池ホルダが機能別に分かれていて2個以上の電池を使用する場合は、違う種類の電池（アルカリとマンガン等）や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないで下さい。発熱の恐れがあります。
- 電池着脱の際は、指先等をケガしないよう注意して下さい。●電池を廃棄、または保存する場合はテープなどで絶縁して下さい。他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。●廃棄の際は各自自治体の指示に従って下さい。

電池の交換について

電池容量が不足してくると、液晶表示が薄くなったり、アラーム音が小さくなったり、歪んだりします。このような場合は、速やかに同じ種類の新しい乾電池に2個同時に交換して下さい。

※充電式電池・リチウム乾電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。

※一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きな場合があります。

※アルカリ乾電池とマンガン乾電池はどちらも使用可能ですが、一般にアルカリ乾電池の方が長持ちします。

※アルカリ乾電池とマンガン乾電池は併用しないで下さい。

※買置き電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」より、電池寿命が短くなることがあります。

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。電波を受信できない場合は、内蔵クォーツ精度で計時をします。

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、2015年4月現在、情報通信研究機構によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所にあり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また、送信所の設備点検や雷害などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。
- 情報通信研究機構 ホームページアドレス <http://jy.nict.go.jp>

液晶表示について

- 液晶表示は角度により見えにくくなります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなることがあります。
- 温度が高くなると液晶表示が黒くなり、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示板は5年を過ぎるとコントラストが低下して、表示が見えにくくなる場合があります。
- 液晶表示面には触れないで下さい。表示が見えにくくなる場合があります。
- 0～+40℃の温度範囲を超えると、液晶表示が見えにくくなる場合があります。

時計の掛け方について

- ▲**注意** ▲**警告** ●時計は確実に掛けて下さい。落下により、ケガをする恐れがあります。●掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。●コンクリート・石膏ボードなどの壁には壁の材質に合わせて市販の掛け具を使用して下さい。

日本国外でのご使用について

本製品は、日本の標準電波以外では受信できません。海外で使用する場合は、ご使用になる場所の条件によっては、日本の標準電波を受信したり、ノイズによって誤った時刻を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

使用場所について

電波時計はラジオと同様に電波を受信して機能します。以下のような条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用して下さい。

- ◆鉄筋、鉄骨の建物の中や地下（ただし、窓際は比較的信受しやすいです）
- ◆山、ビルなどの電波をささぎもの近く
- ◆高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
- ◆自動車、電車、飛行機などの中（特に移動中は電波障害が起きやすくなります）
- ◆空港、交通量の多い道路の近く工事現場など
- ◆電波障害の起きる場所
- ◆テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの通信機器、蛍光灯など照明
- ◆金属面(床や壁)に接して設置した場合

※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合があります。このような場合は、リセット操作をして深夜の時間帯や使用する場所を変更してご使用下さい。

① 各部の名称

液晶表示

- ALARMマーク：アラーム設定時刻の表示中、または設定中に表示します。
- TIMEマーク：手動による時刻の設定中に表示します。
- SNOOZEマーク：スヌーズ間隔時間の設定中に表示します。
- アラームマーク：アラームがONのとき、表示します。
- スヌーズマーク：スヌーズ機能の[入/切]状態を表示します。
- 電波状況表示：電波受信のとき、設置場所の電波状況を表示します。
- 受信マーク：受信の結果を表示します。
- 電波周波数表示：電波受信のとき、探している周波数を表示します。
- 時刻表示：時/分/秒を表示します。
- 12/24時間表示：12時間表示を設定したときのAM/PMを表示します。

本体裏面

[SNOOZE/LIGHTボタン] SNOOZE/LIGHTボタンを押し、手動時刻設定に使用します。

[SETボタン] 手動時刻設定に使用します。

[ALARMボタン] アラーム時刻設定に使用します。

[UP(12/24)ボタン] 設定操作中に1回押すごとに項目を加算します。通常時刻表示のときに押し、12/24時間表示が切り替わります。

[DOWNボタン] 設定操作中に1回押すごとに項目を減算します。

[掛け穴] [WAVEボタン] 手動受信と受信中止するときに使用します。

[アラームスイッチ] アラームのON/OFFに使用します。

[RESETボタン] リセット操作の際に使用します。

[電池ホルダ]

- ※電池を入れるときは-側から入れて下さい。
- ※電池をはずすときは+側からはずして下さい。

[【電池フタツマ受け穴】]

[ツマ部分]

※開けるときは、ツマ下の凹凸を押しながら製品底部の方向へスライドして下さい。閉じるときは、ツマを差し込みながらスライドさせて下さい。

[ツマ下部]

種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や時計の故障の原因となります。

② 時計の使い方(お使い始め)

- #### 自動設定（電波受信による時刻・日付設定方法）
- ①保護ラベル（液晶ラベル）を剥がして下さい。
 - ②電池フタを開けて単3形乾電池2個を+の表示に合わせて入れ、ツマ部分を受け穴に差し込み電池フタを閉じて下さい。電池を入れて、「ピッ」と確認音が鳴った後、液晶面が表示され電波の受信を開始します。
 - ※受信中は受信マークが点滅します。
 - ※受信中に電波状況表示を確認し、本取扱説明書の【使用場所について】を参照して、電波を受信しやすい場所に本体を設置して下さい。
 - ※受信には最長14分かかります。
 - ③受信の結果を確認して下さい。本取扱説明書の【受信の状態について】を参照して下さい。
 - 受信に成功すると、受信マークが点灯して自動的に時刻を修正して表示します。
 - 受信に失敗すると、受信マークが点灯しなくなります。時刻は修正されません。
 - ※初期受信に失敗した場合は、1時間毎に再度自動受信モードに入ります。自動受信は、受信に成功するまで最多5回繰り返します。

電波受信ができなかった場合は・・・

- ①一昼夜そのままにして様子を見て下さい。夜間は比較的电波受信の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。初期受信に失敗しても、定期的に自動で受信を始めるので、本取扱説明書の【リセット操作について】を参照して、午後8時以降を目安にリセット操作を行い、夜半を経過して様子を見て下さい。
- ②設置場所を変えて、手動受信をして下さい。本取扱説明書の【電波時計について】を参照して、本体の向きや置き場所を変えて、手動受信をして下さい。本取扱説明書の【手動受信について】を参照して下さい。
- ③手動による時刻設定をして下さい。本取扱説明書の【手動設定】を参照して、時刻を手動で合わせして下さい。
- ※手動で時刻を合わせた場合も、定期的に自動受信を開始して、受信に成功すると、自動で時刻を修正します。

手動設定（手動による時刻の設定方法）

注意

- ※電波受信(受信マークの点滅)中は手動による時刻設定はできません。
- ※設定中の点滅は約45秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。

- ①通常時刻表示のときに、SETボタンを3秒以上押し続けると時刻設定モードに入り、TIMEマークが点灯し画面の[時]が点滅します。
- ②UPボタン/DOWNボタンを押して[時]を設定します。
- ③SETボタンを押すごとに[時]→[分]→[秒]が点滅します。UPボタン/DOWNボタンを押してそれぞれを設定します。

[時の設定] AM 12:00:00

[分の設定] AM 12:00:00

[秒の設定] AM 12:00:00

※[秒]はUPボタン/DOWNボタンを押すごとに00秒に設定されます。

④[秒]の設定が終了したらSETボタンを押して下さい。点滅が終了し、設定された時刻が表示されて、手動による時刻設定が完了します。

※12/24時間表示の切り替えは、時刻設定完了後にUPボタンで設定することができます。

※12時間表示の時[午前(AM)]と[午後(PM)]の間違えないように注意して下さい。

③ アラーム(目覚まし)の使い方

アラーム時刻の設定

注意

- ※電波受信(受信マークの点滅)中はアラーム時刻の設定はできません。
- ※設定中の点滅は約45秒以内です。この間に操作を何もしないと点滅が終了して、通常表示に戻ります。

- ①通常表示のとき、ALARMボタンを押すとアラーム設定時刻が表示されます。
- ②ALARMボタンを3秒以上押し続けるとアラーム時刻設定モードに入ります。→[時]部分が点滅します。
- ③UPボタン/DOWNボタンを押して[時]を設定します。
- ④[時]の設定が終了したら、ALARMボタンを押します。→[分]部分が点滅します。
- ⑤UPボタン/DOWNボタンを押して[分]を設定します。
- ⑥[分]の設定が終了したら、ALARMボタンを押します。→[スヌーズ間隔時間]が点灯します。UPボタン/DOWNボタンを押してスヌーズ間隔時間を設定します。（1～60分の間の任意の時間）
- ⑦[スヌーズ間隔時間]の設定が終了したら、ALARMボタンを押します。→アラーム設定時刻が表示されて、アラーム時刻の設定が完了します。その後SETボタンを押すと、通常時刻表示に切り替わります。
- ※アラーム時刻は[秒単位]の設定はできません。
- ※[午前(AM)]と[午後(PM)]の間違えないように注意して下さい。

アラーム機能の使い方

- アラームを鳴らす
アラームスイッチをONの位置にする。→アラームマークが点灯
※アラームは鳴り始めから約1分後に自動的に止まります。
- アラームを止める
アラームスイッチをOFFの位置にする。→アラームマークが消灯
または、SNOOZE/LIGHTボタン以外のボタンを押す。
※アラームが鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。
※アラームマークが点灯したままです。
- なにもしない。(オートストップ機能)
→アラームは鳴り出しから1分で自動的に鳴り止まり、翌日の設定した時刻になるまで鳴りません。
※アラームマークが点灯したままです。
- 止めてもまた鳴るスヌーズ機能とライト機能
■アラームが鳴っている間に、SNOOZE/LIGHTボタンを押すと、アラームが一旦鳴り止まり、再び鳴り出します。
※スヌーズ間隔時間は、1～60分の間で任意の時間が設定出来ます。スヌーズ間隔時間は分単位で計測しているため、秒の経過時間は含まれません。
→(例)スヌーズ間隔時間を1分で設定した場合、12時00分00秒にアラームが鳴り始め、12時00分50秒にSNOOZE/LIGHTボタンを押すと、アラームは一旦鳴り止まり、12時01分00秒に再び鳴り出します。
※スヌーズ機能中は、Z²マークが点滅します。
※アラームが再び鳴らないようにするには、アラームスイッチをOFFの位置にします。
■SNOOZE/LIGHTボタンを押すとライトが約5秒間点灯します。

④ その他の機能

手動受信について

電波受信が終了(受信マークが点灯、または消灯)しているとき、WAVEボタンを2秒以上押し、電波受信を開始します。

※電波受信中にWAVEボタンを押すと電波受信を終了します。

自動受信について

自動受信は1日に最多5回(午前1～5時の毎正時)行われます。午前1時の受信に成功すると、次の日の午前1時まで受信はしません。午前1時の受信に失敗すると午前2時に、受信に成功するまで5回受信を繰り返します。

※初期受信(電池をセットして最初の電波受信)に失敗した場合は、1時間毎に再度自動受信モードに入ります。自動受信は、受信に成功するまで最多5回繰り返します。

受信の状態について(受信マークの表示例)

- 受信(電波を探している状態)です。
- 電波状況チェック機能について
- 受信中の設置場所の電波状況を表示します。

電波状況が良い環境

電波状況が悪く受信できない環境

- 点灯
- 受信に成功して時刻/日付修正を終了しています。
※次の受信開始まで点灯し続けます。
- 消灯
- 受信に失敗して終了しています。
※次の受信開始(点滅)まで、表示されません。

リセット操作について

電池を電池ホルダからはずした直後は、静電気や内部に残っている電流により、誤動作(誤表示)する場合があります。電池を入れなおした場合は、必ずRESETボタンを押して下さい。

※RESETボタンはクリップ等を伸ばした先などで押して下さい。針などの先端の鋭利なものを使用すると、内部ボタンが破損しますのでご注意ください。

また、電波障害などにより、誤った電波を受信し、表示・時刻がおかしい場合があります。このような場合も、上記リセット操作をして下さい。